

新北市藝遊

2022 Nov. 11月號

TANGIBLE WORLD The New Social Dynamics in Ceramics

世界的 形狀

陶藝作為
社會新動能

新北市立鶯歌陶瓷博物館
三樓特展室
New Taipei City
Yingge Ceramics Museum
3F Exhibition Room



日文版

廣告

2022.9.9 - 2023.4.16

カバーストーリー



2022 台湾国際陶芸ビエンナーレ

「2022 台湾国際陶芸ビエンナーレ」が、鶯歌陶瓷博物館の3階特別展示室で本日より盛大に開催されます！国内外の有名な陶芸作家の合同展示のほか、日本の岐阜県現代陶芸美術館、韓国の金海美術館、イスラエル・テルアビブのエレツイスラエル美術館、オランダの欧州セラミックセンター等、国を超えた多岐にわたる作品が一堂に展示されます。ご興味のある方はぜひご来場いただき、素晴らしい作品の数々をご堪能ください！



世界の形 - 陶芸を社会の新エネルギーとして
台湾国際陶芸ビエンナーレは、世界四大陶芸展のひとつで、今年は「世界の形 - 陶芸が生み出す社会の新エネルギー」をメインテーマに、「形の回帰 - 陶磁の路」、「無形 - 自然の変」、「変形 - 媒材の道筋」、「進化 - 土地の共振」をサブテーマとして、12カ国の素晴らしい芸術家47名による72作品が展示されます。四つのサブテーマは、それぞれが段階を追った展示となっており、現代陶芸が歴史・人文、自然環境、展示媒体、存在する場所からどのようにして養分を吸い上げ、唯一無二の様相を持つまでに成長したのかをご覧ください。また、私たちが存在する時空が生み出す影響を新たなものにし、伝統的な創作や展示方法を脱却することで、

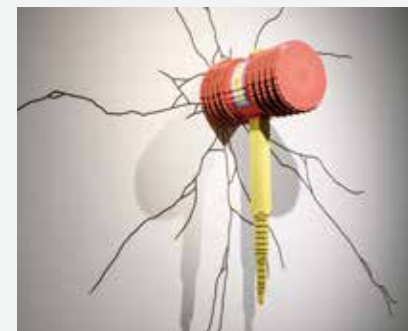
若手作家の陶芸の可能性への探求を後押しするものにもなっています。

巨匠の作品 台湾初出展

有名な陶芸製作の巨匠、李康孝氏の作品が台湾で初めて展示されます。「2021 韓国国際陶芸ビエンナーレ」で金賞を初受賞した鶯歌の陶芸家、卓銘順氏による今回の特別出展作品『助け合い』シリーズも展示されます。これは、人体と連結した陶器の装置が人は互いのつながりを欲しながらも、親密になりすぎない状態を保っていることを象徴し、互いの異なる背景を尊重し、異なる観点を持つ理念を受け入れることを表現しています。また、アフターコロナ時代の姿、人間の心や体といった側面における各種の距離とも巧みにシンクロしています。

素晴らしい国外作品を展示

金才圭氏の『自然饗宴』は、白い雲の下で四頭の色鮮やかな可愛らしい馬が立っている作品で、大自然における動物たちの豊かな晚餐、自然の尊さを表現しています。増田敏也氏の『低解像度デジタル絵図』は陶芸でイメージの躍動感、物体構造の表現を試みており、レゴのように組み合わせられ、重なる層が視覚的にもユニークな作品です。韓国の金海博物館から貸し出され展示する朴星旭氏の『月の光輪』は、古い窯跡の破片を積み重ねて時間の軌跡を



表現した作品です。日本の岐阜県現代陶芸美術館から貸し出された酒井博司氏の『藍色志野壺』は、創作は伝統的な美濃焼の手法を用い、釉薬の優雅な青色と鮮やかな線、現代的な造形が特徴となっている作品です。国境を超えて多角的に交じり合う作品の展示と交流は、現代の陶磁芸術の美しく光り輝く1ページを奏でていきます。

2022 台湾国際陶芸ビエンナーレ

- 📅 即日起より 2023/04/16 まで
- 📍 新北市立鶯歌陶磁博物館
- ☎ 02-8677-2727
- 🌐 www.ceramics.ntpc.gov.tw



編集者の選択



2022 新北市美術展

台湾全土で知られた美術公募展です。油絵、水彩画、版画、写真、テクノロジーアート、水墨画、書道、篆刻、膠彩画、彫刻の10種類の創作部門があり、その中から毎年5部門の公募が行われ（翌年には別の5部門を公募）、現在までに34回開催されています。近年は、参加資格に戸籍、国籍の制限を設けず、創作作品の規格を撤廃し、題材、サイズ、表現方法でも多彩で革新的なものが増え、新北市美術展の多様性と創作振興の信念を貫くものとなっています。今年の公募は、油絵、水彩画、版画、写真、テクノロジーアートの5部門で、参加作品は時事への関心、土地への想い、自己との対話を共通の軸とし、時代の空気を反映しながら、自己、土地、つながりを求める現代人を表現しています。10月27日から新北市芸文センターで開催される受賞作品展では、81点の素晴らしい作品が展示されます。伝統的な創作手法と斬新な表現方法を組み合わせ、芸術の伝承、革新、変化を打ち出すものとなっており、ご来場の皆様には芸術創作を身近に感じていただける機会となっています。



- 📅 即日起より 11/21 まで
- 📍 新北市芸文センター
- ☎ 02-2253-4417
- 🌐 www.artcenter.ntpc.gov.tw



5G で色輝く林園の神話 - 光の演出

国定古跡の林本源園邸は過去3年連続でプロジェクトマッピングのイベントを開催しています。今年は、園内の修復工事のため、初めて屋外の入口広場と西門街の旧壁に会場を移し、2022年の林本源園邸光のショーも、ライトアップ技術で芸術の夢の世界「光のカラフル回廊」を創り出します！今年は当代伝奇劇場の芸術総監督一呉興氏と実行総監督の林秀偉氏が『女神 西王母』の制作、演出を指揮し、林本源園邸の定静堂広場と板橋放送所でも5Gリアルタイム共演が行われ、体験型の演出で林家花園の美学に新たな解釈を加えます。11月5日より、毎晩19時から21時まで、園区屋外の「光のカラフル回廊」には大自然の雄大な映像が映し出され、普段の西門街を光揺らめく、色鮮やかな幻想的な世界へと変化させます。期間中はポップアップ式の演出も行われ、定静堂広場の美しい池の傍にある舞台の周りでは、きらびやかな投影とポップアップの演出をご覧ください。今年は舞台芸術と光のテクノロジーを融合させた屋外演出、そして、園邸の伝統的なイメージに現代の革新的な芸術の新たな様相を付け加えることで、新北市板橋府中の美学のベース基地として、輝けるブランド訴求を行います！



- 📅 11/05 より 2023/01/02 まで
- 📍 国定古跡林本源園邸
- ☎ 02-2965-3061#23
- 🌐 www.linfamily.ntpc.gov.tw



新北市立十三行博物館



- 🕒 09:30-17:00 (第一月曜日休館)
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-2619-1313
- 📍 新北市八里区博物館路 200 号
- 🚗 交淡水線「淡水駅」→渡し船→紅 13 番バス→十三行博物館、または、渡し船→紅 22 番バス、704 番バス→仁愛路口→徒歩 5 分→十三行博物館。

📍 即日より 2023/09/17 まで
南島の礼—古代南島礼器特別展

新北市立淡水古蹟博物館



- 🕒 月曜～金曜 09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00 (第一月曜日休館)
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-2623-1001
- 📍 新北市淡水区中正路 28 巷 1 号
- 🚗 MRT →淡水信義線の淡水駅紅 26 番線、836 番線のバスに乗り各古跡スポットのバス停で下車。

📍 即日起より
淡水開港後唯一の勝利：海上に残るのは船だけ

府中 15



- 🕒 09:30-18:30 (第一月曜日休館)
- 💰 Free
- ☎ 02-2968-3600#211
- 📍 新北市板橋区府中路 15 号
- 🚗 MRT →板南線に乗りし、府中駅で下車。2 番出口を右へ進み、徒歩約 40 m で到着。もしくは 1 番出口を右へ進み、道を渡って直進。約 3 分で到着。

📍 即日より
影像魔方 MAGIC

新莊文化芸術センター



- 🕒 09:00-17:00 (第一月曜日休館)
- 💰 Free
- ☎ 02-2276-0182#101
- 📍 新北市新莊区中平路 133 号
- 🚗 MRT 「新莊」線に乗り、新莊駅で下車。1 号出口で 257 に乗り換え、「新莊ブール駅」で下車。

📍 11/10 より 11/29 まで
2022 不乾即墨—頼原、余鵬鴻書芸二人展

新北市眷村文化园区空軍三重一村



- 🕒 10:00-18:00 (第一月曜日休館)
- 💰 Free
- ☎ 02-2979-1815
- 📍 新北市三重区正義南路 86 巷
- 🚗 MRT 「中和新蘆線 - 迴龍線」に乗りし、「台北橋」で下車後、徒歩で文化南路→福德南路→正義南路 86 巷を進みます。

新北市立鶯歌陶磁博物館



- 🕒 月曜～金曜 09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00 (第一月曜日休館)
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-8677-2727
- 📍 新北市鶯歌区文化路 200 号
- 🚗 交鉄道→台湾鉄道の区間車に乗りして鶯歌駅にて下車。文化路の出口から右折して文化路老街商圈から文化路に沿って徒歩 10 分。

📍 即日起より 2023/04/16 まで
2022 台湾国際陶芸ビエンナーレ

新北市坪林茶業博物館



- 🕒 月曜～金曜 09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-17:30 (第一月曜日休館)
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-2665-6035
- 📍 新北市坪林区水德里水聳凄坑 19-1 号
- 🚗 MRT →新店駅で下車し、923 または緑 12 の新店客運バスに乗り換えて坪林中学駅で下車、徒歩約 5 分で到着します。

📍 即日より 2023/05/08 まで
津甘韻特別展

435 芸文特区



- 🕒 月曜～金曜 09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-18:00 (第一月曜日休館)
- 💰 Free
- ☎ 02-2969-0366
- 📍 新北市板橋区中正路 435 号
- 🚗 MRT →板南線(青ライン)「板橋駅」で下車し、2 番出口から板橋バスステーションで 310、307、810、857、786 バスに乗り、「板橋中学、板橋 435 芸術文化特区」で下車。

📍 即日より 11/24 まで
2022 雑技芸起来—翔舞起芸

新北市美麗永安芸文センター



- 🕒 09:00-17:00 (第一月曜日休館)
- 💰 Free
- ☎ 02-2929-8830
- 📍 新北市中和区中和路 390 号 2 階
- 🚗 MRT オレンジラインで永安市場駅下車。

📍 11/24 より 12/12 まで
こま 100—林永順こま展と新北市芸術教育深耕協会会員切り絵作品展

烏来泰雅民族博物館



- 🕒 月曜～金曜 09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00 (第一月曜日休館)
- 💰 Free
- ☎ 02-2661-8162
- 📍 新北市烏來區烏來里烏來街 12 号
- 🚗 MRT 新店ラインで終点・新店駅へ。新店客運 849 号バスに乗り換えて烏来メインステーションで下車。

📍 即日より
華やかで精細な織物芸術

新北市立黄金博物館



- 🕒 月曜～金曜 09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00 (第一月曜日休館)
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-2496-2800
- 📍 新北市瑞芳区金光路 8 号
- 🚗 台北—金瓜石：台北 MRT 「忠孝復興」駅 2 番出口前にて基隆客運(バス) 1062 系統に乗り→瑞芳、九份を経て終点「金瓜石」にて下車。

📍 11/04 より
大地館—「鉱山を見通す」常設展

国定古跡林本源園邸



- 🕒 09:00-17:00 (第一月曜日休館)
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-2965-3061#23
- 📍 新北市板橋区西門街 9 号
- 🚗 MRT →板南線(青ライン)「府中駅」で下車し、1 番出口から徒歩約 8 分。

📍 11/05 より 2023/01/02 まで
5G で色輝く林園の神話—光の演出

新北市芸文センター



- 🕒 09:00-17:00 (第一月曜日休館)
- 💰 Free
- ☎ 02-2253-4417
- 📍 新北市板橋区莊敬路 62 号
- 🚗 MRT →板南ライン(ブルーライン)で新埔駅へ。4 番出口を出て右折し、横断歩道を渡り文化路二段 182 巷まで直進し、右折。再び直進し約 3 分で到着。

📍 即日より 11/21 まで
2022 新北市美術展

樹林芸文センター



- 🕒 演芸ホール開放時間：開演 60 分前よりチケット提示でロビーに入場可能。客席開場は開演の 30 分前となります。
- ☎ 02-2682-0035
- 📍 新北市樹林区樹新路 40-8 号
- 🚗 樹林駅正面(鎮前街)出口より左方向に進み、徒歩約 8 分で到着 (SHOWTIME シネマ横)

📍 11/05 より 11/06 まで・11:00-17:35
2022 樹林跳：ウィ・アイランド・ダンスフェスティバル—アイ・アム・マイ・ボディ

新北市客家文化園区



- 🕒 月曜～金曜 09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-18:00 (第一月曜日休館)
- 💰 Free
- ☎ 02-2672-9996
- 📍 新北市三峡区隆恩街 239 号
- 🚗 板南線(青ライン)「永寧駅」→台北客運バス 917、981 三鶯線先導バス

📍 即日より 2023/03/19 まで
職人の心—伝統工芸展